

三輪中学校 「いじめ防止強化週間」 「いじめについて考える日」

<ねらい>誰もが安心して学校生活を送るために、互いの違いを認め合い、仲間を尊重する態度を育てる。

<いじめ防止強化週間>の取り組み

①今年度は、先生方に前任校で学ばれたことを活かし、様々な視点から「いじめ防止」に関わる話をしていただいた。

○前任校「草潤中」 → 「人の多様性」という視点から

○前任校「特別支援校」 → 「障がい」という視点から

○前任校「岐北中」 → 「差別」という視点から

②「SOSの出し方」(スクールカウンセラー)

○「相談することの有効性について理解する。」「人に相談されたときに大切にするとALKを理解する。」をねらいとし、SOSを出す力と受け止める力を高めることについて授業を行った。

③生徒会の取り組み

○カラフルリボン

・赤や黄色のリボンをカバンに結ぶことで、皆のいじめは絶対に許さないという思いを一つにしようという取り組み。

○仲間の思いやり行動の紹介

・各学級から、学級や仲間のためにがんばっている生徒を学級委員が選出し、全校生徒に紹介した。また、その学級委員の中から、生徒会執行部員ががんばっている姿を紹介した。

<いじめについて考える日>の取り組み

○校長先生による全校放送

・いじめをさせないためにはどんなことが必要なのか。傍観者にならないためにはどうすればよいかについての話。

○<いじめ防止強化週間><いじめについて考える日>を通しての振り返りの記入。

生徒作文

「先生たちからの話や学級委員さんたちからのよいこと見つけが印象に残りました。特に校長先生の話で「自分の意見を伝えること」が大切だということと言われて、少しずつでも伝えていけるようにしたいと思いました。また、この期間で班の人たちのよいところや他の学級・学年の人たちのよいところにも目を向けることができました。これからは仲間のことをよく見て自分の意見も伝えられるようにしていきたいと思いました。」